

事務事業名	平和に関する事業																																																																	
事業開始年度	昭和57年度			担当部署		市長公室 人権政策室																																																												
根拠法令																																																																		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()																																																																	
目的 (何のために)	本市における平和に関する事業を通じて、市民へ恒久平和、基本的人権の尊重などの啓発を行い、平和な社会を実現するため																																																																	
対象 (誰・何を対象に)	市民																																																																	
事業内容	<p>本市の平和事業については、憲法のつどいをはじめ、夏季と3月1日の「枚方市平和の日」に合わせて講演会や映画会及び中央図書館1階の平和資料室における特別展示等を実施し、市民啓発を行っている。昨年度実施した具体的な事業は以下のとおり。</p> <p>①「平和の日」記念事業(1989年～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会「いま、守らなければならないこと」(講師:山本浩之), 平和資料室特別展<沖縄戦とひめゆり学徒隊>, 企画展「田島征彦反戦と人権の絵本絵画展」 <p>②平和に関する啓発事業(1968年～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憲法のつどい「差別のない社会を～人間として生きる権利と自由～」(講師:桑原征平), 中央図書館平和資料室の通年・特別展示 <p>③非核平和都市宣言推進事業(1982年～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本非核宣言自治体協議会の副会長として非核平和都市宣言の啓発を行うとともに、核兵器廃絶を求め、平和な社会を実現するための啓発に取り組んだ。 																																																																	
事業の必要性	各事業について、市民啓発を図り平和な社会の実現を図るためには必要である。																																																																	
コスト	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">H20年度決算</th> <th colspan="2">H21年度決算</th> <th colspan="2">H22年度当初予算</th> </tr> <tr> <th></th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> <th>従事職員数</th> <th>概算人件費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正職員</td> <td>2.1人</td> <td>17,556千円</td> <td>2.1人</td> <td>17,342千円</td> <td>2.1人</td> <td>16,867千円</td> </tr> <tr> <td>再任用職員</td> <td>人</td> <td>千円</td> <td>人</td> <td>千円</td> <td>人</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員等</td> <td>人</td> <td>千円</td> <td>人</td> <td>千円</td> <td>人</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>人件費計(A)</td> <td></td> <td>17,556千円</td> <td></td> <td>17,342千円</td> <td></td> <td>16,867千円</td> </tr> <tr> <td>直接経費(B)</td> <td></td> <td>1,508千円</td> <td></td> <td>1,963千円</td> <td></td> <td>2,316千円</td> </tr> <tr> <td>総事業費(A+B)</td> <td></td> <td>19,064千円</td> <td></td> <td>19,305千円</td> <td></td> <td>19,183千円</td> </tr> </tbody> </table>											H20年度決算		H21年度決算		H22年度当初予算			従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	正職員	2.1人	17,556千円	2.1人	17,342千円	2.1人	16,867千円	再任用職員	人	千円	人	千円	人	千円	非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円	人件費計(A)		17,556千円		17,342千円		16,867千円	直接経費(B)		1,508千円		1,963千円		2,316千円	総事業費(A+B)		19,064千円		19,305千円		19,183千円
	H20年度決算		H21年度決算		H22年度当初予算																																																													
	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費																																																												
正職員	2.1人	17,556千円	2.1人	17,342千円	2.1人	16,867千円																																																												
再任用職員	人	千円	人	千円	人	千円																																																												
非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円																																																												
人件費計(A)		17,556千円		17,342千円		16,867千円																																																												
直接経費(B)		1,508千円		1,963千円		2,316千円																																																												
総事業費(A+B)		19,064千円		19,305千円		19,183千円																																																												
財源内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">H20年度決算</th> <th colspan="2">H21年度決算</th> <th colspan="2">H22年度当初予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫支出金</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td>606</td> <td>千円</td> <td>588</td> <td>千円</td> <td>650</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>受益者負担 (使用料等)</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>18,458</td> <td>千円</td> <td>18,717</td> <td>千円</td> <td>18,533</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>											H20年度決算		H21年度決算		H22年度当初予算		国庫支出金		千円		千円		千円	府支出金	606	千円	588	千円	650	千円	受益者負担 (使用料等)		千円		千円		千円	その他		千円		千円		千円	一般財源	18,458	千円	18,717	千円	18,533	千円														
	H20年度決算		H21年度決算		H22年度当初予算																																																													
国庫支出金		千円		千円		千円																																																												
府支出金	606	千円	588	千円	650	千円																																																												
受益者負担 (使用料等)		千円		千円		千円																																																												
その他		千円		千円		千円																																																												
一般財源	18,458	千円	18,717	千円	18,533	千円																																																												
平成21年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容					金 額																																																												
	○「平和の日」記念事業経費(企画展除く)					733 千円																																																												
	○憲法のつどい事業経費					351 千円																																																												
○「平和の日」記念事業 企画展(企画展に基づく講演会含む)開催経費					730 千円																																																													

事務事業名	平和に関する事業				
事業開始年度	昭和57年度	担当部署	市長公室 人権政策室		
活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H20年度	H21年度	H22年度(見込み)
	① イベント参加者数	人	3,142	4,345	4,538
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/イベント参加者数	円	6,067	4,443	4,227
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	本市では、平和に関する事業を通じて戦争の悲惨さを伝えるとともに、核兵器廃絶、恒久平和・基本的人権の尊重などの啓発を行っている。 各事業の実施により、参加者が平和な社会を築くことが大切であると気付き、実感すること。				
事業の自己評価	目標の達成に向けて、多様な事業を実施してきた。一定レベルの成果は上がっていると認識する。その検証はアンケート結果からも伺える。 核兵器廃絶、恒久平和・基本的人権の尊重などの一般的な啓発事業はもとより、本市は戦前、軍需のまちと呼ばれた経過がある(下記に記載)ことから、市民が身近に感じる市内の戦跡を活用することや国内外で実績と話題性のある日本非核宣言自治体協議会や平和市長会議と連携を行い多角的に事業を実施している。				
今後の事業の方向性	引き続き目標達成のため、市民啓発につながる講演会、映画会などを実施する一方、市内戦跡リーフレットを活用したイベントの実施など本市独自となる取り組みを行う。 また、世界平和に向けた取り組みについても、さらに日本非核宣言自治体協議会や平和市長会議と連携し、効率的に実施できるように工夫を行う。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	(参考)同様の事業は、各自治体で実施されている。 平成21(2009)年度 各市における主な事業(人件費を除く)【日本非核宣言自治体協議会資料】 ●堺市(平和人権資料館等9事業25,300千円)、●吹田市(平和祈念資料室管理運営等7事業12,868千円)、●豊中市(平成21年度戦没者ならびに空爆犠牲者追悼式等20事業1,238千円)、●高槻市(平和展等5事業1,509千円)、●茨木市(非核平和事業1,554千円)、●八尾市(非核・平和啓発事業平和講演会等5事業1,511千円)、●寝屋川市(平和を考える市民のつどい等6事業1,949千円)、●東大阪市(平和のつどい等7事業1,501千円)、●大東市(ヒロシマ平和バスツアー等3事業741千円)、●富田林市(第25回平和を考える戦争展等5事業2,185千円)、●枚方市(3月1日枚方市平和の日記念事業等)				
特記事項	<p>【非核平和都市宣言・枚方市平和の日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市は戦前、軍需のまちと呼ばれ、旧陸軍の火薬工場が3か所もあった。その一つの禁野火薬庫が1939(昭和14)年3月1日に大爆発し、大きな被害を受けた。 ・各工場は住宅団地などに生まれ変わり、この惨事を忘れてはならないと、1982(昭和57)年に大阪府内で初めて「非核平和都市」を宣言し、また爆発から50年を経た1989(平成元)年に3月1日を「枚方市平和の日」に制定した。 ・非核都市宣言は全国1,897のうち1,479(82.3%)都市が宣言。(参考:平成22(2010)年4月1日現在) <p>【日本非核宣言自治体協議会・平和市長会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本非核宣言自治体協議会 (平成22(2010)年4月1日現在) 大阪府内では15市、全国では261自治体が加盟。(本市は昭和58年加入) ○平和市長会議 (平成22(2010)年7月1日現在) 大阪府内では28、全国では772自治体が加盟。(本市は平成21年1月加入) 				

補助資料 2009(平成21)年度 平和に関する事業

1. 3月1日 枚方市平和の日記念事業

①講演会

- 日時：3月13日(土) 午後2時から
場所：ラポールひらかた 4階 大研修室
内容：「今、守らなければならないもの」
関西テレビアナウンサー 山本浩之さん
参加者計 144名



平和の日 講演会

②FMひらかた平和番組

- 日時：2月28日(日) 午後2時～3時
場所：FMひらかたによる放送番組
内容：平和の日記念番組「平和を語り継ぐ」
戦後65年を迎え、戦争の風化が進む中、若い世代に戦争の記憶を伝えていくために、さまざまな戦争体験談を中心に放送した。
香里製造所に学徒動員された2名の方の戦争体験。



沖縄戦とひめゆり学徒隊

③特別展 期間：3月16日(火)～25日(木)

- 場所：枚方市立中央図書館 1階平和資料室
内容：特別展 「沖縄戦とひめゆり学徒隊」 パネル展
参加者計 543名



沖縄戦とひめゆり学徒隊

- 場所：メセナひらかた会館多目的ホール
内容：平和ナイトシアター「硫黄島からの手紙」
参加者計 103名

- 場所：サンプルザ生涯学習市民センター視聴覚室
内容：戦争体験語り継ぎ「私の沖縄戦」近藤一さん
参加者計 51名



平和ナイトシアター



戦争体験語り継ぎ

④企画展 期間：2月26日(金)～3月10日(水)

- 場所：市民ギャラリー(ひらかたサンプルザ3号館)
内容：「田島征彦反戦と人権の絵本原画展」
参加者計 1,421名

- 場所：サンプルザ生涯学習市民センター視聴覚室
内容：「平和を語る&絵本を読む」田島征彦さん
参加者計 98名



反戦と人権の絵本原画展

2. 夏季平和資料室特別展事業(期間:8月15日～20日)

2006(平成18)年8月1日に平和資料室をオープンし、戦争資料を展示するなど一層の平和施策を推進している。

- ・ヒロシマ・ナガサキ原爆パネル展(日本非核宣言自治体協議会からパネル借用) 参加者計1,153名



ヒロシマ・ナガサキ原爆パネル展

・夏季 戦時食体験・試食会

戦争中や終戦後は食糧が極端に不足し、日常の食事にも事欠く状況であったことから食用可能なものは、雑草も調理した。当時の雑穀・雑炊、代用コーヒー等を再現した。 参加者計 200名



夏季 戦時食体験・試食会

・人権・平和映画会「つるにのって」、「リロアンドステイッチ」 参加者計 76名

3. 子と親の非核平和映画会

期間： 8月 4・5・6日

場所： 菅原生涯学習市民センター2階ホール、楠葉生涯学習市民センター 2階大集会室、さだ生涯学習市民センター 3階ホール

内容： 上映作品 「うしろの正面だあれ」 参加者計 412名

4. 憲法のつどい(5月27日)

このつどいは、5月3日の憲法記念日にちなみ、日本国憲法が主権在民、平和主義、基本的人権の尊重を3大原則としていることの意義をかみしめるとともに憲法の理念について、市民とともに考え、まちづくりに生かしていくために、毎年開催している。講演会と同時に、近隣の枚方第二小学校6年生による憲法前文の朗読を行っている。

内容： 講演会 「差別のない社会を～人間として生きる権利と自由～」 (元関西テレビ放送アナウンサー・大阪芸術大学教授 桑原 征平さん)

参加者計 144名



憲法のつどい講演会

5. 平和の鐘、カリヨン、防災無線、FMひらかた等による平和祈念放送等

平和の鐘「カリヨン」(ヒラリヨン)は 21世紀の平和のシンボルとして、市制50周年にあたる1997(平成9)年に岡東中央公園に建設された。「ヒラリヨン」は市民公募により決定された愛称で、枚方とカリヨンの合成語である。1日10回、定時に流されるそのメロディーは人々に親しまれている。また、原爆が投下された8月6日午前8時15分(広島)と、9日午前11時2分(長崎)終戦の8月15日正午に原爆と戦争犠牲者のめい福と恒久平和を祈念して岡東中央公園の平和の鐘カリヨンを鳴らし、また市内小学校等による防災行政無線放送やFMひらかたの放送で広く市民に1分間の黙とうを呼びかけている。

平和に関する事業の参加者数

(単位：人)

	平成20年度	平成21年度
3月1日枚方市平和の日記念事業	1,240	2,360
夏季平和資料室特別展事業	1,095	1,429
子と親の非核平和映画会	663	412
憲法のつどい	144	144
参加者合計	3,142	4,345